

図書便り

いわき翠の杜高等学校 図書部
平成30年8月29日



夏休みも終わり、いよいよ二学期が始まりました！ 残暑の候とは言いますが、まだまだ熱中症や脱水症状に気を付けて過ごしてください。今年は暑い夏が続いております。油断は禁物、大敵です。

《おしらせ》

① 夏休み長期貸し出しの本の返却日は、

8月31日(金)です。 お忘れなきようお願いいたします。

② 前回のクイズの回答期限

前回の図書便りのクイズの回答期限ですが、8月31日まで有効とします。

《展覧会》

◎開催中◎

『特別企画展 没後70年 太宰治展』

『走れメロス』や『斜陽』、『人間失格』など数々の著作を遺した太宰治の展覧会です。この展覧会では『文豪ストレイドッグス』とのコラボレーション企画も展開しています。興味のある方は足を運んでみてはいかがでしょうか？

場所：こおりやま文学の森資料館 久米正雄記念館

開催期間：9月30日まで

入館料：学生100円 大人200円

※こおりやま文学の森資料館には敷地内にいくつかの建物があります。この展覧会は久米正雄記念館で行われていますので、迷わないように注意してください。

また、企画展と通常展は共通の券で見ることができます。

《展示会関連情報》

『走れメロス』 一般財団法人 理数教育研究所 「メロスの全力を検証」より

現在こおりやま文学の森資料館で開催されている『太宰治展』ですが、太宰の著作のひとつ、『走れメロス』について一つ的话题を提供したいと思います。

『メロスは激怒した。必ず、あの邪知暴虐の王を除かねばならぬと決意した。』

この一文ではじまる『走れメロス』は、人の心を信じられない王と、その王に処刑されることとなったメロスの物語です。メロスは最後に妹の結婚式をあげるために、親友のセリヌンティウスを身代りとして置いて行き、三日後までに戻ると王に約束をします。数々の苦難を乗り越えながら片道10里の道を進むメロスは果たして処刑の日までに間に合うのか、という話です。

この話を読んだとある中学生はこう思いました。

「メロスがどれほどの勢いで10里の道を進んだのかを算出し、数値で彼のがんばりを感じたい」

そこで彼は実際にメロスがどれほどの速さで進んだのか計算をしてみました。

まず、メロスが出立した時刻は「初夏、満天の星」であったことから……と仮定より始めたこの研究は、2013年度「算数・数学の自由研究」中学生の部最優秀賞となりました。

数学や国語だけでなく天文学や地理など多岐にわたる資料を参照し、はじき出されたメロスの速さとは！？

普段あまり気かけずに読んでいるところに、不思議が転がっているかもしれないという例でした。

結果など詳しくは『一般財団法人 理数教育研究所』のホームページに全文掲載されていますので、そちらをご覧ください。